

「テレワークセミナー2024 in東海 ＜自営型テレワーク活用のロールモデル「KADO」を紹介＞」を開催

- 講演日時 令和6年11月25日(月) 13:30～16:35
- 講演場所 ナゴヤイノベーションズガレージ(名古屋市中区)
- 参加者数 60名(オンライン聴講含む)
- 主催 総務省東海総合通信局、厚生労働省愛知労働局、東海情報通信懇談会
- 講演概要

講演1:「長野県塩尻市公設クラウドソーシング×自営型テレワーク推進プロジェクト「KADO」について」



講師:長野県塩尻市商工観光部
先端産業振興室 室長
一般財団法人塩尻市振興公社 理事
太田 幸一 氏

「KADO」では、時間的に制約のある人がライフスタイルにあわせて時短で働ける自営型テレワークによる就労支援に取り組んできました。この取組により育成された人材が、行政・地域のDXを支え、現在は、自動運転実証実験の3次元高精細地図作成にも取り組んでいることを紹介いただきました。

講演2:「テレワークによる地域の雇用創出支援について～「KADO」活用の有効性～」



講師:ネットワンシステムズ株式会社
中部事業本部 第2営業部第2チーム
エキスパート 尾形 誠治 氏

塩尻市振興公社と実施したテレワーク推進事業をきっかけに、東京のオフィスでなくても仕事ができることを実証。塩尻にオフィスを構えると共に、「KADO」へ業務をアウトソーシングすることで、社員の負担軽減と、業務の効率化を図ることができたことを紹介いただきました。

講師3:「自営型テレワークの適正な実施のためのガイドライン」



講師:厚生労働省愛知労働局 雇用環境・均等部指導課
指導課長補佐 尾崎 尚吾 氏

厚生労働省が発行している「自営型テレワークのためのガイドライン」に基づき、テレワークで働く人への委託契約等でのどのようなことを守る必要があるかを解説。また、今年11月にスタートしたフリーランスの取引に関する新しい法律についても紹介いただきました。